

# チーム深町 (深町小学校だより)

～挨拶・笑顔・元気いっぱい 深町小学校



## 学力特集号

令和3年12月7日  
北九州市立深町小学校  
文責 校長 花島 秀樹

### 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

#### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	全体的には全国平均正答率を下回っていた。「書くこと」は全国平均正答率より上回っていた。しかし、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の2領域については課題が残される。
算数	全体的には全国平均正答率を下回っていた。領域「変化と関係」については、全国平均正答率を上回っていた。課題のある領域は、「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」であった。特に図形に関する問題に課題がある。

#### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○学校に行くのは楽しい、友達と協力するのは楽しいと感じている児童はとても多い、このことより、学校での人間関係はとてもよく、学校が児童にとって心の居場所となっていることがうかがえる。また、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考える児童が多く、学級活動及び生徒指導、人権教育等の成果が認められる。</p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えるということに関して、多くの児童が当てはまるという回答をしており、特別活動やキャリア教育の成果を読み取ることができる。</p> <p>○読書については、家庭での本の保有率は少ないが、学校での読書時間は多い傾向にある。国語科学習や学校図書館司書を中心に取り組んだ図書館教育の充実によって、読書の楽しさを児童が味わったことを示唆するものと考えられる。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言等の期間中、計画的に学習を続けることが難しいため、児童は、勉強について不安を感じている。また、規則正しい生活を送ることができなかつたと回答する児童が多く、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生活の変化は、児童の生活態度に少なからず影響を及ぼしているものと捉えられる。</p>

#### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

##### ① 教科に関する取組

○各学級の児童の実態に応じ各教科の課題の克服を図り、学力の定着を図る。漢字や計算などは、繰り返し練習し確実な定着を図る。

○主題研究(算数科を中心に)「基礎的・基本的な内容の確実な定着」「考えたことを表現する力を高める」ことや板書計画に力点を置きながら、授業の振り返りや自分の言葉で自己の学びを表現する力量を身に付けさせていく。

##### ② 家庭生活習慣等に関する取組

○宿題や家庭学習について各教科の課題や児童の学習特性に応じた内容を整理して、児童の発達段階に応じて意図的・計画的に取り組めるようにしたい。

○日常的なあいさつ等の基本的な生活習慣の確立に向けた指導を徹底するとともに、身近な人や地域の行事に対して積極的に関わることができるようにする。

○全国学力・学習状況調査の課題と取組等については、学校だより、学校HP等で成果と課題を説明し、保護者に周知していく。また、家庭と連携しながら学力向上のための取組を進めていく。

○給食、保健、発育測定等の時間に、「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを繰り返し指導する。